

■ 基本理念

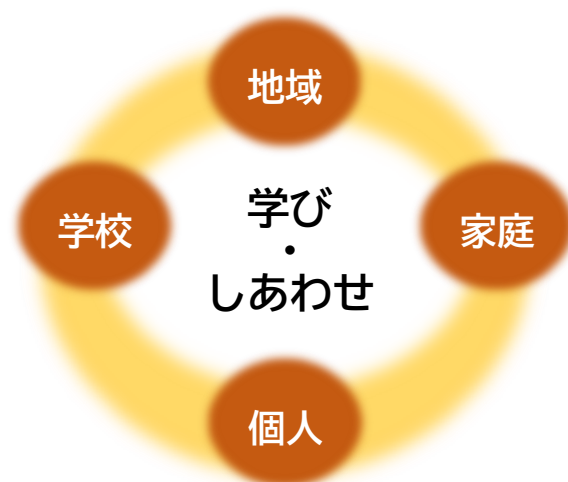
「しあわせが循環する米沢」を目指し、米沢らしさを活かした学びを共に創り上げ、郷土に誇りを持って活躍する人づくり

「しあわせが循環する」とは、しあわせが個人で完結することなく、個人を取り巻く人々から地域や社会へと「しあわせ」が波及し、互いに影響を与えながら、さらに増幅していくという意味が込められています。人生 100 年時代を迎え、ICT化やグローバル化の進展などにより、急速に社会が変化する中で、「しあわせの循環」に「学び」は欠くことのできない要素の一つです。

「学び」は、教えから新たなことを知る「しあわせ」だけではなく、教えることで自らの理解が深まる「しあわせ」など、教える側も教えられる側も学びを通して互いに相乗効果を高めていきます。

米沢市では、上杉鷹山公をはじめとする先人の教えから得られる学び、地域に根付く歴史や伝統文化から得られる学び、「学園都市」として身近に存在する大学との関わりから得られる学びなど、学校や地域などあらゆるところで米沢らしさを活かした学びが現在に至るまで受け継がれてきました。こうした米沢らしさを活かした学びは、時代を超えて循環し、郷土への愛着をより深め、誇りを持って地域に貢献しようとする力につながります。

本市では、子どもから大人まで、障がいがある人もない人も、米沢を新たな故郷に選んだ人も含めて、多様な個人が誰一人取り残されることなく生涯学ぶことを楽しみ、過去から受け継がれた普遍的なものを大切にしながら未来に向かって力強く進んでいく人づくりを目指します。



■ 基本方針

1 自ら考え行動し、可能性に挑戦する人づくり

時代の変遷に伴い、様々に変化する環境に対応して、自らがどのように行動すべきかを考え実践できる人材を育てます。

ICT化やグローバル化など社会が急速に進展する中で、時代の変化により求められる力を育み、予測困難な時代の課題を見極め、自らの決定に責任を持って可能性に挑戦する人材を育てます。

2 多様性を認め合い、共に学び合う人づくり

子ども、高齢者、障がい者、外国人に加え、他の地域から移住した人など、多様な背景や価値観を持って米沢で暮らす人々が学びを通して交流し、共に学び教え合いながら、それぞれの個性を認め、互いを思いやり、支え合い、一人ひとりを尊重できる人材を育てます。

3 生涯にわたり学び、生きがいを持って活躍する人づくり

すべての世代の人が、ライフステージや生活環境が変化しても学び続けることができるよう、文化芸術やスポーツに親しみながら生涯楽しむことができるものを見出し、心豊かで生きがいを持って活躍する人材を育てます。

4 ふるさとを愛し、歴史と文化から未来を創る人づくり

郷土の偉人や文化について、家庭・学校・地域が連携して学び教え合い、米沢の歴史や伝統文化に誇りを持って、次世代に継承できる人材を育てます。

幅広い世代が歴史や文化を学び、ふるさとを愛する心を育み、地域の課題に向き合い、ふるさとの未来を見つめ、課題解決のために行動できる人材を育てます。